

三木市特定教育・保育施設評価 評価結果報告書
(平成29年度)

園名 (上の丸保育所)

	評価基準	評価内容
I	心の育ちを優先し、生きる力の基礎を育む教育・保育	○子どもたち一人ひとりのあるがままの姿を認め、その上で子どもたちが伸び伸びと園内で過ごせるよう配慮している。
II	異年齢集団での遊びや生活を通して社会性を培う教育・保育	○周囲の恵まれた環境を活用し、異年齢の子どもたちが触れ合いながら活動している。
III	自尊感情を育むとともに豊かな人権感覚を養う教育・保育	○耐寒マラソンの際、3歳女兒が水たまりに興味を持ち立ち止まったが、無理に走らせようとせず、ゆったりと寄り添う場面があった。個々の興味や関心を大事にし、おのずから自尊感情が育つ教育・保育を実践している。
IV	小学校との連携	○就学前の「小学校との交流会」への保護者参加支援、各小学校との「教育連携連絡会」、中学校区ごとの「保幼小中連絡会」への参加等で連携を図るなど、情報交換が適切に行われている。
V	教育・保育の内容の保護者への説明	○理念・基本方針を「入所のしおり」等に明文化し、入所説明会、入所式、行事等で配布、説明をしている。 ○行事の詳細や子どもの様子などを掲載した「園だより」・「クラスだより」の掲示や配布により情報提供をしたり、担任と保護者の個人面談の機会を設けたりしている。
VI	職員の資質向上のための取組	○園内、外部研修計画を策定している。内部研修は、全職員を対象にほぼ毎月定期的実施している。外部講師招聘による感染症等研修を実施している。 ○職員会議で日々の保育を振り返る機会を設け、年1回、個別面談の機会を設けている。

VII	安全管理	<p>○「児童票」や主治医からの連絡票からは既往症、予防接種の状況、アレルギーなどについて、また、保護者との連絡帳からは、日々の体調などについて把握し、子どもの健康管理に徹底して取り組んでいる。</p> <p>○月1回、避難訓練（火災・地震・不審者）を実施し、災害時対応の周知に努めている。</p>
VIII	地域の子育て拠点としての取組	<p>○歴史ある保育所であるため、地域との結びつきも深く、子育て拠点として積極的に取り組んでいる。</p> <p>○園庭開放・育児相談などにも取り組んでいる。</p>
IX	地域において子育て支援を行う団体との連携	<p>○トライやるウィークの受け入れやサッカー教室の実施、子供向け人権教室、地域の方（「フラワーマイスター」）との花植え、おまつりごっこ、茶道、演奏ボランティアなど、地域の団体と連携を図って子育て支援を行っている。</p>